

は不體裁なる舊五號活字にて印刷せられたり。

十月三日大阪天王寺公開堂に開かれたる大日本労働連同盟友愛會第八週年大會の席上京東鐵工組合の代表員高田和逸氏は正進會の罷工事件を報告し義捐金の募集及び同會激勵の意志を表示すべき件に就き急緊動議を提出し、大會の代表員、來賓、傍聴者の間より義捐金を募り余六十圓を得、之を電送すると共に代表員高田君及來賓中の荒畑寒村氏等激勵文起草委員となり左の激勵文を正進會宛打電したり。

〔犧牲者に名譽あれ、戰爭者に勝利あれ、友愛會大會〕

新聞聯盟の態度

報知新聞に於ける正進會の要求を動機とし遂に五名の收監者と三十八名の馘首者を出したる事實は正進會員たる否とを問はず十六新聞社工場職工の感情を太く昂奮せしめたり。かくて正進會は最初の計畫に従て、八時間二部制及最底賃銀八十圓を主要條件とする要求を各社個々に其の回答期限に相違を附して提出することとなり、先づ讀賣、萬朝、時事、朝日、やまとの各工場に於てそれごとく此の要求運動を開始したり。

茲に於て九月二十九日新聞聯盟協會は京橋八官町和合亭に會合し職工の要求に就き之が對策を協議したる結果、八時間二部制は之を認めその實施に就いては各社の適宜に委すべしと決し、最底賃銀八十圓問題は、諸物價下落の方向に在るのみならず、市内普通印刷工より一割方增收ある新聞工に對し更に値上げをなすの必要を認めずとの意見に一致し之を拒絶して罷業に際會したる工場に對しては聯盟の協助を以て休刊を免れしむべしとの協定を遂げたり。

朝報要求を容る 然るに十月二日に到り、萬朝報は休刊を慮りて八時間二部制と同時に最底賃銀八十圓の條件を承認し即時實施を宣約したり、萬朝報はその經濟的事情より打算せば到底此の要求に應じ得らるべからざりしなり、而かも之れを許容したる所以のものは東京新聞社中最も正進會員も多く、其の團結力亦最も鞏固にして一度之を峻拒せば全員結束して罷業を斷行すべきは瞭を見るよりも明かなりし爲めに外な各社、經營者測は此の形勢を洞察して遂に要求を許容したり。時恰も社會黒岩周六氏は重患にて命旦夕に迫り、工場物情を耳にするや「余は新聞に依つて世に起ち半生を新聞のために揚げ來れり、希くは余の命脈ある申は工場に事を起さしむる勿れ」と頻りに休刊を懸念したりと云へば、萬朝報が黒岩氏の終りを慰むるために遂に「能はざるを行はんと約したるなり」と傳へらる萬朝報社は工場員に其口約を與へたる後、新聞聯盟協會に之を報告したるに協會は其取消を求めて止まず、茲に於て進退兩難に陥れる同社 「各社の聯盟休刊せば取消さん」として聯盟休刊を要求したるも東京日日新聞其他の反對ありて此議は纏まらず、孤立無援の萬朝報はその工場の事情より單獨休刊を虞れ餘義なく二要求を認容し僅に事なきを得たるは事實にして之がため聯盟協會の協定を無視したる廉にて聯盟より除名せられ、昨年八月の罷業に際し聯盟協約成立と共協定したる聯盟規約即ち聯盟